



# 長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技

## 競技記録

少年男子1回戦

主審 伊藤 彰二 (福岡)

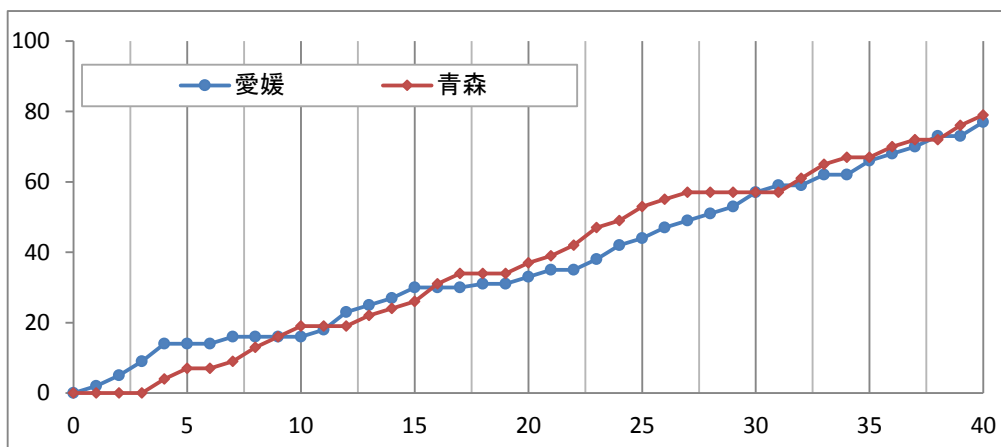
副審 幡丸 登志久 (和歌山)

愛媛 77 ●

16	—	19
17	—	18
24	—	20
20	—	22
—	—	—

79 青森 ○

No. 18D-1 日時: 2014年10月18日(土) 10:00 会場: 長崎市民体育館



### 愛媛

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 上田 将貴 (C)	2	0	1	0	1	2	0
5	坂田 光平	-	-	-	-	-	-	-
6	白石 靖弥	0	0	0	0	1	1	1
7	本田 貴将	-	-	-	-	-	-	-
8	東浦 元樹	2	0	1	0	2	5	1
9	* 萩野 一洋	20	0	8	4	1	10	0
10	新 将広	8	0	2	4	0	4	2
11	玉井 勇輝	-	-	-	-	-	-	-
12	* 足立 臣哉	19	3	4	2	3	7	5
13	* 伊勢元 晃司	20	3	4	3	4	4	1
14	* 一色 篤	6	0	2	2	1	10	0
コーチ	玉井 剛					0		
合計		77	6	22	15	13	43	10

### 青森

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	奥山 崇志 (C)	3	1	0	0	1	1	1
5	* 鈴木 亮也	13	1	4	2	3	4	3
6	磯谷 公哉	5	0	2	1	1	0	1
7	鳴海 亮太	4	0	2	0	0	4	3
8	* 齊藤 優弥	19	2	6	1	1	3	2
9	* 中野渡 紘己	0	0	0	0	0	2	0
10	* 太田 昂希	8	0	4	0	3	4	0
11	橋本 龍弥	16	3	3	1	2	5	2
12	大山 アックス	2	0	1	0	4	2	0
13	下山 尚也	3	0	1	1	3	6	1
14	* 豊川 裕太	6	0	3	0	3	4	0
コーチ	千葉 哲也					0		
合計		79	7	26	6	21	35	13

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

### 戦評

一回戦、愛媛県対青森県。両チームハーフコートマンツーマンでスタート。序盤は愛媛がリードし、ペースをつかむ。残り4分、青森はタイムアウトを要求。#7、#11の連続得点で追撃し、残り1分で追いつく。終了間際、交代して入った青森#6がバスケットカウントを決め16-19、青森が逆転し1Q終了。2Q、愛媛は#4を中心に逆転に成功、得点を重ねる。青森も#5の連続得点などで対抗し、均衡状態が続く。終了間際、青森#5が2Pを決め、33-37、青森リードで前半を終える。3Q、リバウンドでも主導権を握った青森が得点を重ねリードする。残り4分、愛媛がタイムアウトを要求。その後、#12、#13を中心に愛媛のオフェンスが機能し、徐々に点差を縮める。残り2分、青森がタイムアウトを取るも愛媛の勢いが止まらない。終了間際、愛媛#9の2Pが決まり、同点として3Qを終える。4Q、今度は青森が#5、#8を中心に得点を重ねる。残り1分、73-76とリードした青森がタイムアウトを要求、逃げ切りを図る。愛媛もファウルゲームで対抗するがわずかに及ばず、77-79で青森が勝利。交代を頻繁に行い、全員が出場した青森のゲーム運びが印象的な好ゲームであった。

© 2014 長崎県バスケットボール協会 植島 雄飛 (所属) 長崎県バスケットボール協会



# 長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技

## 競技記録

少年男子1回戦

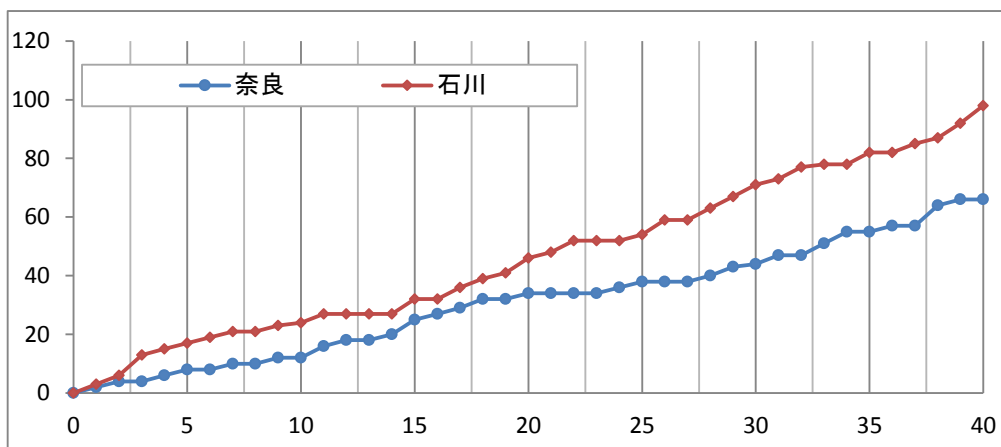
奈良 66

12 - 24  
22 - 22  
10 - 25  
22 - 27  
-

98 石川

主審 紀伊 孝哉 (佐賀)  
副審 小森 信夫 (長崎)

No. 18D-2 日時: 2014年10月18日(土) 11:45 会場: 長崎市民体育館



### 奈良

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	大江 一毅 (C)	0	0	0	0	0	1	0
5	原 健人	0	0	0	0	2	0	0
6	足立 優太	0	0	0	0	3	1	0
7	* 波多野 憲	6	0	3	0	4	7	5
8	* 岑山 遼太郎	4	0	2	0	3	2	1
9	能勢 大志	0	0	0	0	2	2	0
10	* 表 稔也	12	0	6	0	3	2	0
11	鱒 勇輝	4	0	2	0	1	4	0
12	* 西岡 晃司	14	2	4	0	1	3	6
13	* 山中 将輝	17	2	5	1	2	10	1
14	山本 慎之介	9	1	3	0	2	3	0
コーチ	藤尾 兼三					0		
合計		66	5	25	1	23	35	13

### 石川

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	朝倉 翼 (C)	3	0	1	1	1	4	5
5	* 濱高 康明	17	0	6	5	0	12	0
6	山瀬 翔平	9	2	0	3	1	0	1
7	* 涌波 茄生	17	0	7	3	3	4	4
8	* 高澤 慎太郎	7	1	1	2	0	4	2
9	請田 佳彦	0	0	0	0	0	0	0
10	* 大倉 龍之介	15	1	6	0	3	3	1
11	酒井 達晶	3	1	0	0	0	1	1
12	* 古村 健一	14	0	6	2	1	9	1
13	石垣 駿	5	0	2	1	1	4	0
14	小室 悠太郎	8	0	4	0	0	9	2
コーチ	黒坂 昭弘					0		
合計		98	5	33	17	10	50	17

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

### 戦評

1回戦、奈良県対石川県。両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。1Q序盤、石川#12のリバウンドシュートや#10の3Pでリズムをつかむ。奈良も#10のドライブや#13のミドルシュートで互角の展開。残り6分、6-15となったところで、奈良タイムアウト。石川は速攻から#12のドライブ、奈良は#11のポストプレイなどでそれぞれ得点し、12-24で1Q終了。2Q、奈良は速い展開から#12や#13のシュートで追撃するも、その後球際の攻防が激しくなり、両チームともなかなか点が入らず膠着状態になる。残り6分奈良#12の3Pが入り23-27となったところで石川タイムアウト。その後、石川は#5のブロックショットからの速攻や、#6の3Pなどで徐々に点差を広げ、34-46で前半終了。3Qになってからもリバウンドやルーズボールなどで激しい攻防が続く。奈良がオフェンスでのターンオーバーで加点できない一方、石川は鋭いドライブから#7ミドルシュートなどで点差を広げ、44-71で3Q終了。4Q、奈良は#12の3Pなどで追撃を図るが、石川#7のドライブや、#14のリバウンドシュートで流れを渡さない。残り4分57-82となったところで奈良タイムアウト。奈良はオールコートプレスから#13の3Pなどで何とか点差を縮めようとするが、石川も攻撃の手を緩めず#6の3Pなどで加点し、粘る奈良を振り切って98-66で勝利した。

© 2014 長崎県バスケットボール協会 記者: 吉野 聖司 (所属) 長崎県バスケットボール協会



# 長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技

## 競技記録

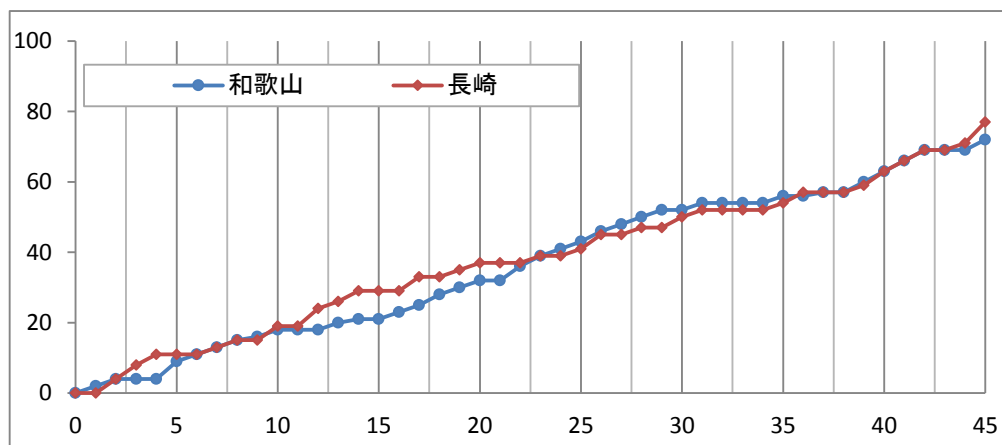
少年男子1回戦

和歌山 72 ● 77 ○ 長崎

主審 富島 健司 (京都)

副審 橋 貴志 (岩手)

No. 18D-3 日時: 2014年10月18日(土) 13:30 会場: 長崎市民体育館



### 和歌山

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 甲藤 成輝 (C)	26	3	8	1	3	7	1
5	上野 誠也	0	0	0	0	0	4	0
6	小畑 雄生	2	0	1	0	0	0	0
7	* 根来 達也	5	0	2	1	1	3	0
8	西村 渉	8	0	3	2	0	1	4
9	* 山田 一輝	17	2	5	1	1	8	1
10	杵本 浩一	0	0	0	0	0	0	0
11	原田 拓海	2	0	1	0	0	2	0
12	下村 万里	0	0	0	0	0	1	0
13	* 下畑 両平	0	0	0	0	0	0	0
14	* 山本 浩太	12	0	5	2	2	15	0
コーチ	児玉 昌比古					0		
合計		72	5	25	7	7	41	6

### 長崎

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 中野 諭 (C)	14	2	3	2	0	6	1
5	* 山下 竜平	23	3	7	0	2	2	3
6	* 金田 新平	2	0	1	0	3	3	2
7	* 大町 イサ男	10	0	4	2	3	11	3
8	中山 雄姿朗	2	0	1	0	1	0	1
9	國武 龍聖	2	0	1	0	0	1	0
10	濱野 健太	5	1	1	0	1	0	1
11	森山 湧斗	6	0	3	0	3	4	8
12	松崎 颯馬	2	0	1	0	0	5	1
13	* 清水 将吾	2	0	1	0	1	16	0
14	池田 健人	9	1	3	0	0	5	0
コーチ	埴生 浩二					0		
合計		77	7	26	4	14	53	20

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

### 戦評

1回戦、和歌山県対長崎県の対戦。両チームマンツーマンで試合開始。長崎は、パスカットからの速攻や#5の3Pなどで流れをつかみ4-11とリードする。和歌山は#14にボールを集め、残り5分11-11に追いつく。和歌山は残り2分ゾーンディフェンスに変更するも18-19で1Q終了。2Q、長崎は#4の速攻、#5の3Pなどで20-26とリードを広げる。残り2分、和歌山はタイムアウトでリズムを変えようとするが、長崎のディフェンスを崩すことができず32-37で前半終了。

3Q、和歌山ゾーンディフェンス、長崎マンツーマンでスタート。和歌山はパスカットからの速攻で連続得点。開始3分で同点に追いつく。更に、和歌山は#8の速攻などで46-41とリード。長崎は#5のスティールや#10の3Pなどで追いつき52-50で終了。4Q、残り5分長崎#7の2P、#10の3Pの連続得点で56-57長崎逆転。残り2分和歌山#4の3Pが決まり60-57。残り14秒長崎#4の3Pに和歌山#4がファウル。フリースローを2本決め同点に追いつく。残り3秒、和歌山#8のシュートを長崎#11がブロックし延長戦に。

延長戦で先手を取ったのは和歌山。しかし、長崎も#4の連続3Pで流れをつかむ。その後も#5、#14の2Pで勝負を決めた。和歌山も最後まであきらめず粘ったが一步及ばなかった。会場いっぱい詰めた応援に後押しされた長崎県が見事接戦をものにした。

© 2014 長崎県バスケットボール協会  
 記事者 細田 正俊 (所属) 長崎県バスケットボール協会



# 長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技

## 競技記録

少年男子1回戦

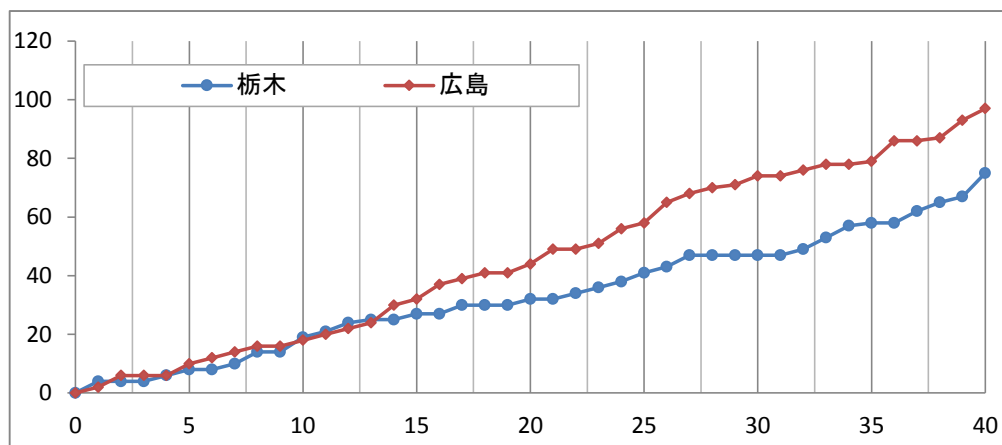
栃木 75 97 広島

主審 那須 弘幸 (和歌山)

副審 西村 卓也 (長崎)

19	—	18
13	—	26
15	—	30
28	—	23
—		—

No. 18D-4 日時: 2014年10月18日(土) 15:15 会場: 長崎市民体育館



### 栃木

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 松下 浩之 (C)	33	7	5	2	2	4	0
5	小川 隼斗	3	1	0	0	0	0	0
6	* 鈴木 優一	4	0	2	0	3	11	2
7	* 坂倉 俊太	4	0	2	0	2	8	1
8	野村 尚紀	6	0	3	0	1	0	1
9	山崎 隼	-	-	-	-	-	0	0
10	狐塚 大介	6	0	2	2	4	1	0
11	種里 英男	2	0	1	0	0	1	0
12	* 鈴木 翔太	9	0	3	3	2	0	2
13	小林 大地	0	0	0	0	1	1	1
14	* ロンゴ ダニエル	8	0	4	0	4	12	2
コーチ	千村 隆					0		
合計		75	8	22	7	19	38	9

### 広島

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 佐々井 雄大 (C)	21	1	7	4	3	5	4
5	* 山崎 翔梧	29	4	7	3	2	3	3
6	* 小栗 尚幸	8	0	3	2	1	9	5
7	豊田 湧一郎	2	0	1	0	0	1	0
8	吉崎 綾汰	17	0	8	1	2	10	0
9	茂刈 皇希	2	0	0	2	0	2	1
10	檜作 昌慶	0	0	0	0	0	1	0
11	松浦 慎哉	5	0	1	3	0	8	2
12	* 伊森 響一郎	11	1	4	0	2	9	2
13	江尻 駿也	0	0	0	0	1	0	0
14	* 河野 拓海	2	0	1	0	2	6	1
コーチ	藤井 貴康					0		
合計		97	6	32	15	13	54	18

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

### 戦評

1回戦、栃木県対広島県。1Q、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。広島が#4の4連続得点などでリードする。対する栃木は#4の3Pで逆転に成功。19-18、栃木がリードして1Qを終える。2Q中盤、広島が早い展開のオフェンスから5連続で得点を重ね逆転、25-32と差を広げる。栃木はタイムアウトを要求するが、ディフェンスもよくなった広島の勢いが止まらない。終盤には広島#12の3Pも決まり、32-44、広島がリードを広げて前半を終える。3Q、栃木はオールコートゾーンプレスで追上げを狙うが、広島#5の3Pや#4の速攻からの得点が決まり、差は開いていく。残り5分、20点差になったところで栃木がタイムアウト。その後、栃木#8が連続得点を決めるが、広島もリズムよく攻め続ける。47-74、広島が差を広げ3Qが終了する。4Q、栃木は引き続きオールコートプレスを敷くが、広島のガード陣は冷静にボールを運ぶ。栃木は#4の3Pを中心に執念を見せるが、ディフェンスで広島を抑えることができない。75-97で試合終了。広島が勝利を収めた。

敗れはしたものの、栃木#4の1試合7本の3Pが印象的な試合であった。

記載者 植島 雄飛 (所属) 長崎県バスケットボール協会